

リウマチ性疾患のリハビリテーション指導記録

(リ)

指導患者名簿の左
端にある患者番号

⑨

該当するものすべてに☑してください。

年 代	60歳代		性 別	□男 <input checked="" type="checkbox"/> 女	
施設名	リウマチ財団病院		転 帰	□寛解	平成・令和 〇〇年1月
リウマチ性疾患 診断名	RA			☑継続中	
合併症名 (関節外科治療を 含む)	無し	リハビリテー ション区分	□院 内 ☑外 来 □その他の	職 業	無し (主婦)
既往歴	<input type="checkbox"/> 胃十二指腸潰瘍 <input type="checkbox"/> 炎症性背部痛 <input type="checkbox"/> 結核 <input type="checkbox"/> 悪性腫瘍 <input type="checkbox"/> 心不全 <input type="checkbox"/> 肝炎 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 大腸憩室症 <input type="checkbox"/> COPD <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 無し				

診 断 (診断日 : □昭和・☑平成・□令和〇〇年4月)

罹患関節 (腫脹又は圧痛)

- 肩関節 肘関節 手関節
手指 股関節 膝関節
足関節 足趾足底 その他 ()

血液の検査

- リウマトイド因子陽性 CRP 上昇
抗 CCP 抗体陽性 赤沈亢進
抗核抗体陽性

治 療 : 現在および過去の処方 (過去の処方については分かれる範囲でよい)

薬物療法

経口 DMARDs

生物学的製剤・JAK 阻害剤・ステロイド剤など

- イグラチモド
サラズルファピリジン
タクロリムス
ブシラミン
メトトレキサート
その他 ()

- TNF 阻害薬
IL-6 阻害薬
T 細胞共刺激阻害薬
JAK 阻害剤
副腎皮質ステロイド
NSAIDs
その他 ()

手術療法 □あり (部位 :) なし

リハビリテー ション実施内 容 (経過含) 及び成果	<p>□PT・☑OT 処方 <input checked="" type="checkbox"/>評価 <input checked="" type="checkbox"/>関節可動域運動 <input type="checkbox"/>筋力増強運動 <input type="checkbox"/>姿勢指導 <input type="checkbox"/>歩行練習 <input type="checkbox"/>装具療法 <input type="checkbox"/>手術前後 <input checked="" type="checkbox"/>スプリント療法 <input checked="" type="checkbox"/>ADL・IADL 指導 <input checked="" type="checkbox"/>生活支援用具の対応 <input checked="" type="checkbox"/>住環境整備 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>【実施内容】</p> <p>平成 XX 年発症、DMARDs により低疾患活動を維持していたが、手関節や手指の局所的疼痛が断続的に発生、IADL に影響をきたしてきたため、スプリント療法や動作指導目的に作業療法処方となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手関節疼痛の緩和及び手指変形発生防止のための動的スプリントを作製。 筋緊張の調整及び関節運動促進目的に運動療法実施。 子育てや家事動作でオーバーユース由来の手関節や手指への疼痛緩和のための動作指導。 SARAH エクササイズプログラムやウェイトボール導入による手指及び上肢機能促進指導。 <p>【成果】</p> <p>運動療法にて手関節掌屈 20° から 70° へ、背屈が 10° から 50° へ改善、Paine VAS が 8 から 4 へ減少、動的スプリント装着により、手関節疼痛緩和で、握力が 150 mmHg から 300 mmHg に向上、動的スプリントを装着し、調理動作や自動車運転で疼痛が緩和され、動作がしやすくなり IADL の質が担保された。また、SARAH エクササイズで手指の変形発生防止に努め、ウェイトボールエクササイズで上肢機能が促進され、セルフケアマネージメントの実践で QOL を良い状態に保つことができている。</p>
備 考	特記無し。

※略語 (病名・薬物名) の扱いは、リウマチ性疾患のリハビリテーション指導患者名簿と同等とします。

※リハ実施内容 (経過含) 及び成果は、文字数を 400 文字から 500 文字で作成してください。フォントサイズは 10.5 を推奨します。

※転帰について空欄が目立ちます。継続中の場合は作成した年月を記入してください。

※記載例を十分に参考にしてください。

※赤字のコメントは、作成の際には消してからご使用ください。

申請者氏名 : 財団 作太郎